令和８年度　「志教育」全体計画

様式１

宮城県名取北高等学校

校　訓

「人間愛」・「創造」・「貢献」

本校の教育目標

1　人間を愛し、知性を養い、情操を陶冶して豊かな人格を備えた逞しい人間を育てる。
2　創造の精神を尊び、積極的に自己啓発に努める人間を育てる。
3　新しい時代・社会における自己の役割を認識し、郷土及び社会に貢献する人間を育てる。

生徒の実態、教師の願い

素直で心優しい生徒が多く、穏やかで健やかであるが積極性に乏しい。高い志を持ち、自己実現の意欲とより良い社会を目指した実践力を身に付けさせたい。

保護者や地域の願い

〇意欲的に自分の人生を切り開いていってほしい。
〇公衆道徳やルールを守るだけではなく、積極的に地域貢献をしてほしい。

「志教育」の目標

来るSosiety5.0の時代を生き抜くため、自分を愛し他者を敬いながら、新たな時代に適応する知性を身に付け、社会に貢献できる人材としての能力を育てる。

重点指導事項

人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
〇学校行事・学年行事などに自律的に関わらせることで、社会性やよりよい人間関係を形成する力を育む。 〇「総合的な探究の時間」での校外活動及び各講演会などを通して様々な価値観や多角的な視野に触れることで自己理解・他者理解を深めさせる。	〇教育活動全体を通し、将来の職業や社会生活と学校で学ぶ知識との関連とその有用性を考えさせる。 〇「総合的な探究の時間」外部団体との活動、ボランティア活動、部活動及び進路活動を通して、将来の自分と社会との関わりについて学び、自己を生かせる生き方や進路を現実的に考えさせる。	〇ホームルーム活動、部活動及びボランティアに積極的に取り組ませ、達成感・自己有用感を高めさせる。 〇ボランティア活動や各種学校行事を通して、集団、組織及び社会の中で自分の果たすべき役割について考えさせ、より価値の高い生き方、自己を活かす生き方について考えを深めさせる。

各教育活動における取組の観点

各教科	各教科の指導内容と現代社会や地域、関連分野を意識させる指導を行うとともに、学問としての現代的な課題に気づかせることで、学ぶことの意義、本質をつかませ、自律的な学習者の育成を図る。
道徳	公共の精神を尊び、自己と他者を愛しつつ郷土及び地域社会の発展に寄与していく態度を養い、より価値の高い生き方、自己を活かす生き方について考えさせる。
総合的な探究の時間	様々な価値観や多角的な視野から社会をとらえ、自ら取り組むべき課題を見出し、周囲と協力しながら解決に向けて行動できる生徒を育成する。自らの「高い志」を持ち課題に自律的に関わり、解決するために実行できる力を育成する。
特別活動	生徒会活動・ホームルーム活動を通し、より良い人間関係を形成する力を育み、集団の中で自分の果たすべき役割に気づき自己を活かし他者に貢献しようとする力を育成する。
その他	名取市の「なとりこどもファンド事業」、「大震災を語り継ぐ北高生の集い」や各種ボランティア活動を通して、地域社会との連携を深め、自分の役割を積極的に果たすことで公共心を育て、将来の主権者としての自覚と防災に対する意識を高める。

各学年の取組内容

1年	①新入生オリエンテーション（4月） ②進路ガイダンス（7月） ③模試分析会（7月、11月、2月） ④卒業生講話（3月） ⑤総合的な探究の時間における探究活動（通年） 「名北アカデミー」などの社会人講師との対話を通して、地域社会や現代社会への多角的な視野や知識を得る。また社会課題に対して自律的に解決しようとする態度を養う。
2年	①進路ガイダンス（7月） ②模試分析会（7月、11月、2月） ③修学旅行（9～12月） 旅行内研修（クラス、グループなど）の企画・立案・実施を通して、自主性・計画性を身に付ける。 ④卒業生講話（3月） ⑤総合的な探究の時間における探究活動（通年） 自ら設定した課題に対して主体的に解決しようと行動する実践力を育てる。各種発表会などに参加することによって効果的に発表できる力を養う。
3年	①生徒保護者進路説明会（6月）、校内大学説明会（7月） ②志望理由書・エントリーシート指導、面接指導、小論文指導などを実施（6月～） ③模試分析会（7月） ④総合的な探究の時間における探究活動（通年） ポートフォリオを用いながら、活動について振り返り自己を見つめ、より良い将来に向けて自己のあり方を考える。

家庭との連携

PTA活動や学校評価、授業公開、学校HPなどを通じて情報交換を図り、本校での取組を家庭にも連絡し、生徒に家庭からも助言や励ましが得られるようにすることで、連携を深める。

地域･企業との協働

名取市・大学・企業・NPO団体などと連携しながら「総合的な探究の時間」をすすめることによって、自身のより良い生き方や、社会のより良い在り方について考えさせるとともに、自らの考えを具現化するための行動力を養う。